



— 推薦・著名人より
本書に寄せて —

2年以上待って、葉羽桐先生の『猫剣客』第二部がついに刊行される。読者の皆さんも、きつと購入して手元に置いておかれることだろう。ゴールデンコミック賞で作品を拝見し、存在を知ってからというものの、長年にわたり、葉羽桐氏は私にとってずっとお気に入り漫画家である。水墨画とユーモアの、独特なスタイル。ただ、彼の出版スピードは、漫画家としては実につらいだろう…。葉羽桐氏には、漫画のほかに新しい道を切り開き、大型のアート作品を創作してもらいたい。彼ならば、きつと素晴らしい芸術家になれるに違いない。

芸術家になった後は、皆さんに彼の作品をもっとコレクションしてもらいたい。将来、彼の作品にはきつと大きな価値がつくだろう。そして、葉羽桐先生が芸術家にとつての不文律を打ち破ってくれることを心から願っている…すなわち、生前にアート作品が売れてほしいのである！

——王偉忠／プロデューサー——

華麗であか抜けた水墨漫画の中で、幻想的な猫剣客が海を渡って放浪し、人の世で戦い、風雲の中を渡り歩く！葉先生の新作は、読者を遥か昔の江戸へと誘い、猫又と妖怪との前世の愛憎を垣間見つつ、日本の大物画家の絵心の道とも巧妙に結びつけ、読者を何度も驚かせてくれる！

——何敬堯／小説家、『妖怪台湾』作者——



これは想像力のタイムトラベルで、猫神が浮世絵の画神・葛飾北斎と出会う。「神奈川沖浪裏が、妖怪と人間の愛憎へとつながっていく。花魁という謎に満ちあふれたキャラクターから、なるほど、妖怪にも道德的な尺度があるということに気づく。貴族と庶民との矛盾・衝突の中に隠された達人たちの勝負は、まるで猫界のグランド・マスターを見ているかのようであり、人間の感情や理性のぶつかり合いや善良な悟りも目の当たりにさせてくれる。

—— 銀色快手／日本妖怪文化研究家



十二生懸命

推薦・・著名人より本書に寄せて
—— 004



第一命・猫と画狂老人
—— 007

第二命・菊を刻んだ罪悪
—— 049

第三命・無限を持っけていても永遠には留まらない
—— 091



第四命・酒吞童子と招き猫
—— 147

付録・・永遠に留まる人々
—— 188























